

情報交換会の開催

テーマ「来たるべき日に備えて～まちづから協議会が力を発揮するために」

- 第1部 防災対策課より中島自治会で実施しているモデル事業の中間報告
第2部 海岸地区まちづから協議会の取組事例の発表
第3部 意見交換

出席委員 13地区委員を含めた各地区5～7名程度の出席

例年6月に開催する「茅ヶ崎市まちづから協議会連絡会情報交換会」は、各地区におけるまちづから協議会の取組状況の発表等を実施し、各地区の取組の活性化を図ってきました。

令和4年度の情報交換会は6月25日(土)に、令和3年度に当会の「防災部会」において実施した、各自治会の避難行動要支援者支援に関するアンケート調査の結果を踏まえ、災害時の対応等についてをテーマとして開催しました。

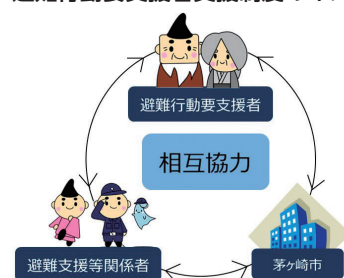
第1部の中島自治会のモデル事業は、国が定める「避難行動要支援者支援制度」に基づき実施されたため、事業の進め方や避難行動シートがとてもしっかりと、全ての地区で同じことをするのは難しい部分もあります。しかし、こういった課題は実際にモデル事業として取り組んだからこそ見えてきたもので、その点は大変意義があったものだと思います。

第2部の海岸地区の取組は、災害時に真に支援が必要な要支援者の避難支援をすることを目指し、行政の視点だけではなく地域だからこそできる取り組みとして、要支援者の状況に応じた避難行動要支援者マップを作成しています。これは、地域住民に詳しく要支援者とも日頃から接している「地域」だからこそ作れるもので、最低限の個人情報さえあれば避難支援ができるといったことも、行政の視点では中々気付かなかったことだと思います。

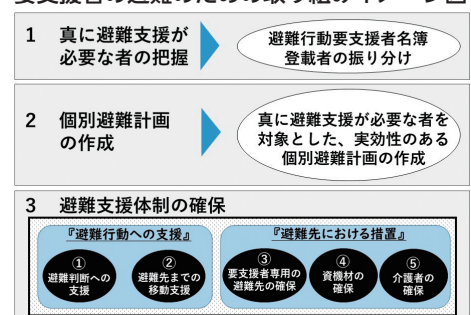
今後、各地区でも避難行動要支援者の支援について更なる検討を進めていただきますが、各地区の状況に応じたやり方で、できるところから少しずつ進めていき、いつ来るか分からない災害に備えることが必要だと考えます。

なお、コロナ禍による感染対策として会場の人数制限をしたことから、第1部及び第2部については、当日会場へ出席できない方のためにZoomを活用した配信を行いました。

避難行動要支援者支援制度のイメージ図



要支援者の避難のための取り組みイメージ図



令和4年度まちづから協議会連絡会委員



浜須賀 松浦 之生	浜須賀 朝倉 哲男	小和田 栗石 剛	小和田 新倉 昭人	鶴嶺西 和田 秀雄	鶴嶺西 貴島 義夫	鶴嶺東 木下 操	鶴嶺東 森谷 義明	湘北 長嶋 憲治
湘南 南 栄美子	湘南 高山 和茂	小出 高木 英明	南湖 秋本 武久	松林 城田 誠	海岸 真野 宗直	茅ヶ崎南 篠原 徳守	湘北 鈴木健司	
松浪 末松 一豊	松浪 前田 積 (監事)	小出 矢野 福德 (会計)	南湖 三觜 健一 (副会長)	松林 細田 勲 (会長)	海岸 林 正明 (副会長)	茅ヶ崎南 倉金 榮 (監事)	茅ヶ崎 城田 禎行	茅ヶ崎 越川 善雄

コロナ禍3年目になり、各地区の活動においては年度計画通りに実施したい気持ちの地区、感染対策がとれなく断念している地区など活動に変化がありました。私の地区においても3年目の自粛は、コロナ禍の役員体制で構成され、歴史ある行事も変化を求められています。

編集後記

これからは、アフターコロナに合わせた活動で、歴史のある行事も行われるべきではないでしょうか。まちづから協議会連絡会の情報交換などの工夫した事例を今後の地域づくりに生かしていきましょう。

Y・K